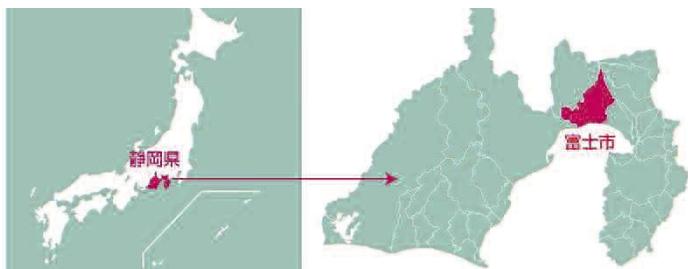


# 「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」



静岡県富士市  
富士市長 小長井 義正



# モデル事業の背景

## 富士市のあゆみ

### <富士山の恵み>

- ◎富士山と駿河湾など豊かな自然環境(地下水、森林、多様な生態系)との共生
- ◎豊富な資源と交通利便性を生かし、「ものづくりのまち」として発展

### <企業・市民の力>

- ◎過去の災害を教訓とした市街地の基盤づくりと、高い防災意識の醸成
- ◎「紙のまち」として製紙産業の一大拠点の形成と、新産業の研究・開発が盛んな土壌
- ◎産業発展に伴い発生した公害を市民・事業者・行政が協力して克服した歴史



## SDGs 達成に向けた先導的な取組

- ◎新産業の創出⇒CNF(セルロースナノファイバー)
- ◎全国自治体モデルの構築⇒ [REDACTED] 「ユニバーサル就労」、「トイレトレーラー」の導入
- ◎「経済の拡大」と「環境保全」の調和を目指す環境管理計画
- ◎電力の地産地消の推進等による気候変動問題への積極的な対策

## 「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」の実現

### <SDGsの視点>

- ①経済、社会、環境のそれぞれの先導的な取組を掛け合わせ、新たな価値を創造
- ②パートナーシップを深め、地域の力を結集
- ③パートナーシップで達成する好循環を生み出す

## 富士山とともに生きる富士市の使命

- ✓富士山の豊かな恵みを守り、活かし、持続可能な資産として未来に繋いでいく
- ✓SDGsの達成に向け本市が取り組む先導的な事業の加速化
- ✓課題解決に向けた新しい協働プロジェクトの創出、推進力を生み出す仕組み
- ✓市民や企業、行政がパートナーシップで世界を変える取組にチャレンジ



# モデル事業の概要（全体概要）

## 経済



【課題】 環境問題に貢献できる産業の創出と持続可能な産業基盤の構築

### 産業支援

CNF（セルロースナノファイバー）の実用化促進

「中小企業の持続可能な経営支援」「起業者支援」

### 農業

富士のお茶のブランド化

### 林業

SGEC森林認証と富士ヒノキ製品  
「FUJI HINOKI MADE」の販路拡大



## 社会



【課題】 誰一人取り残さない社会の実現と防災力の向上

### 多様で柔軟な働き方

ユニバーサル就労の推進

ワークシェアによる移住定住応援事業  
「富士このみスタイル」

### 教育

ESDと高等教育機関との連携  
～紙のまちにある幼稚園として  
みらいにつなげていくもの～

### 防災

災害時に誰もがトイレで困らない  
日本一の災害関連対策



【課題】 富士山の恵みの保全と環境共生社会の実現



### 富士山保全

富士・愛鷹山麓地域環境管理  
富士山麓ブナ林創造事業  
「富士市生物多様性ふじ戦略」の推進

### 気候変動

温室効果ガスの40%削減  
（民間事業者協働型）  
マイクログリッドによる電力の融通

### 教育

新環境クリーンセンター  
循環啓発棟における環境教育の充実

## 環境





# モデル事業の概要（三側面の取組 経済）

## 「環境問題に貢献できる産業の創出と持続可能な産業基盤の構築」に向けた取組



### □ CNF（セルロースナノファイバー）の実用化促進

✓ CNFの持つ可能性を様々な課題解決へ繋げていくため「富士市CNFプラットフォーム」を実施主体として、実用化・製品化研究やマッチング等を行う

#### 【CNFの特性】

- パルプの主成分を使用するCNFは、紙・パルプ産業を基幹産業とする本市にとっての成長分野
- 素材特性から多用途での利用が可能
- 国土の7割を森林が占める我が国において、資源を国内調達できる可能性
- 化石燃料資源に頼らない持続的調達が可能であり、CO2削減効果が期待



### □ [Redacted] 「中小企業の持続可能な経営支援」

### □ [Redacted] 「起業者支援」

✓ 様々な産業支援機関と連携し、既存産業の発展や新産業の創出を支援する

### □ 富士のお茶のブランド化

- ✓ 茶葉に付加価値をつけ、茶農家の経営安定を図る
- ✓ 観光・商業との連携によるまちのイメージ向上に繋げる



### □ S G E C森林認証と富士ヒノキ製品 「FUJI HINOKI MADE」の販路拡大

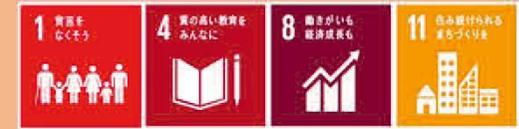
- ✓ 富士ヒノキのブランド化や木材の付加価値を高め、木材生産と森林の持つ公益的機能を発揮する  
持続可能な森づくりを目指す





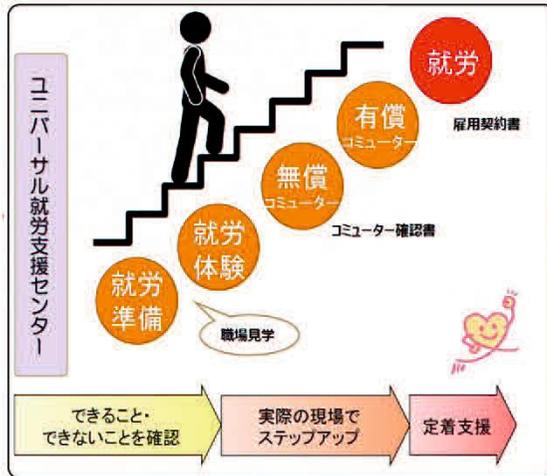
# モデル事業の概要（三側面の取組 社会）

## 「誰一人取り残さない社会の実現と防災力の向上」に向けた取組



### ユニバーサル就労の推進

- ✓ 働きづらさがあっても、その個性や意欲に応じた能力を發揮できる社会の実現
- ✓ 就労支援の利用拡大と協力企業とのパートナーシップの強化を図り、更なる支援充実と体制強化
- ✓ 「働きづらさ」を抱える方は全国に多数潜在していることから、本取組が全国で水平展開されるよう、事業モデルとして浸透を図る



令和元年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

### ワークシェアによる移住定住応援事業「富士このみスタイル」

- ✓ 仲間と仕事をシェアする「ワークシェア」の導入による移住後の働き方の選択肢の充実



### 災害時に誰もがトイレで困らない 日本一の災害関連対策

- ① トイレトレーラーの全国ネットワーク構築と被災地派遣
- ② 女性団体との協働
- ③ 福祉避難所での災害関連死0対策

- ✓ トイレトレーラーの全国自治体への導入促進と、被災地派遣調整等を行うプラットフォームの構築
- ✓ 災害時に、女性や子どもが安心して使える明るくて快適なトイレ環境の整備
- ✓ 福祉避難所に給電器を配置し、災害時に電気自動車（EV）で電力供給する体制の構築



### ESDの推進と高等教育機関との連携

- ✓ これまでの教育・保育の実践とESD・SDGsを結び付ける





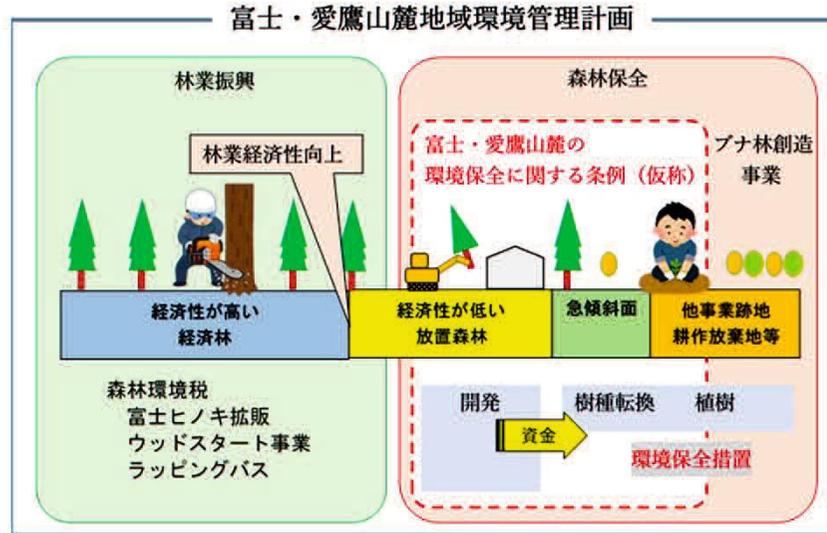
# モデル事業の概要（三側面の取組 環境）

## 「富士山の恵みの保全と環境共生社会の実現」に向けた取組



### □富士山の環境の保全 ① 富士・愛鷹山麓地域環境管理 ② 富士山麓ブナ林創造事業 ③ 生物多様性ふじ戦略の推進

- ✓ 富士山の森林資源の有効活用を含めた総合的な保全管理制度を構築し、「経済拡大」と「環境保全」のトレードオフを解消
- ✓ 市民・企業と協働で広葉樹を植樹し、水源涵養機能、減災機能の強化や生物多様性に富んだ森林をつくる
- ✓ 多様な生物や生態系をまもり、生物多様性に配慮した社会の実現



### □気候変動対策

- ✓ 環境と経済を両立する先進的なモデルを官民が連携して推進
- ① **パリ協定に基づく地方公共団体の温室効果ガス40%削減**
  - ✓ 民間事業者と連携した再生可能エネルギー、電力の地産地消、省エネルギー改修によるレジリエンス性向上の推進
- ② **マイクログリッドによる電力融通**
  - ✓ 低コストかつレジリエンス性の高い電力地産地消モデルを構築

### □新環境クリーンセンター内「循環啓発棟」における環境教育

- ✓ 本市初となる環境啓発に特化した施設を開設
- ✓ 「環境に関心を持ち実践する市民の育成」を推進
- ✓ リサイクル体験、リユース食器の貸し出し、ビオトープでの自然観察など、多彩な環境学習・環境啓発



新環境クリーンセンター（完成イメージ）



# 三側面をつなぐ統合的取組①

## 富士市から、世界を変える 共想・共創プラットフォームの構築



- ✓ 持続可能な未来を拓く思いを「共想」し、地域の力を結集し、新たな価値を「共創」
- ✓ 富士山の頂のように日本一を目指すという高いマインド
- ✓ 富士山の裾野のように幅広い多様なステークホルダーとの協働、連携
- ✓ 各ステークホルダーが課題解決を目指すプロジェクトを登録、プロジェクトを見える化、共有化
- ✓ 全国に先駆け先導的に取り組む事業を登録し、パートナーシップによる加速化、深化

### Point 1. 見える化

- 取組の一覧化
- 新たなステークホルダーとの連携
- 事業認知度の向上
- 次の取組のモデル

### Point 2. 共有化

- 専門家、高等教育機関からの助言
- 産官学金の幅広い分野の参画
- 専門家や高等教育機関とのマッチング

### Point 3. 機会・チャンス

- 金融支援、PR等のインセンティブ
- 様々なステークホルダーとの共創
- 強みを活かせるプロジェクトへの参加
- 新たなステークホルダーの参入

### Point 4. 裾野の拡大

- SDGsの取組の自分ごと化
- 市内高校生のプロジェクト参加
- 大学生、若者の学び・実践フィールド
- 関係人口としての繋がり拡大
- メディアを通じた効果的なPR戦略

### Point 5. 実践の土壌

- リーディングプロジェクトの実施
- パートナーシップによる実践促進
- SDGs実践の好循環

### Point 6. トレードオフの緩和

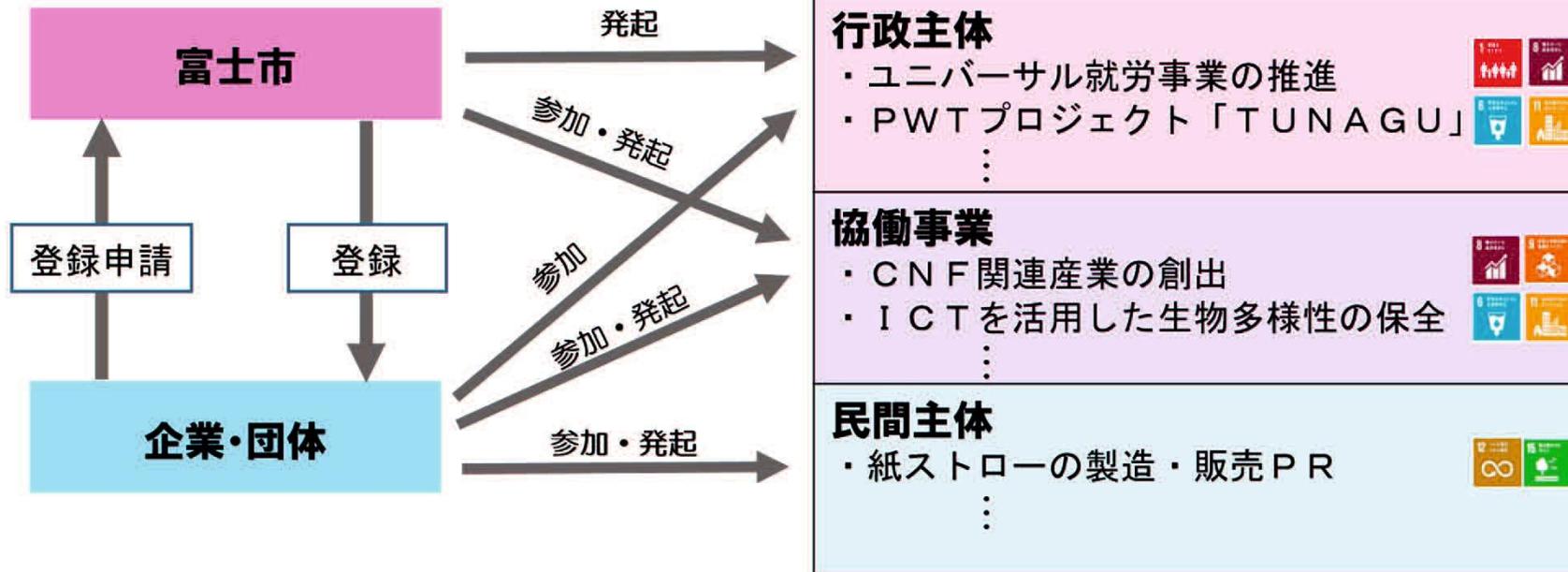
- SDGsの理念の浸透
- 様々な主体が、経済・社会・環境の三側面での調和
- 地域社会への参画と貢献



# 三側面をつなぐ統合的取組②

## 共想・共創プラットフォームのスキーム

### 富士山・いただきプロジェクト



支援

支援

#### 金融支援

- 【相談】
- ・ 資金調達
- 【活用】
- ・ ESG金融
- ・ 企業版ふるさと納税
- ・ クラウドファンディング

#### 技術支援

- 【支援者の登録】
- ・ 高等教育機関
- ・ 各種制度登録者

#### 実証フィールドの提供

- 【場づくり】
- ・ 会議等の場の提供
- 【実証実験】
- ・ 市民等の協力

#### PR支援

- ・ WEB制作
- ・ 広報



# 三側面をつなぐ統合的取組③

## 普及活動・実践促進

- (1) 共想・共創の場づくり、推進イベント
- (2) キックオフイベント
  - ▶ 講談社FRaUタイアップ企画  
シンポジウムの開催  
富士市から、  
「世界を変える、はじめかた」
  - ▶ S D G s 映画祭
- (3) ウェブサイト上での情報発信、紙媒体でのPR
- (4) 企業向けセミナー等の開催
- (5) 中小企業等へのインセンティブ、ESG金融に関する勉強会等
- (6) 高等教育機関等との連携
- (7) ストーリーブック製作

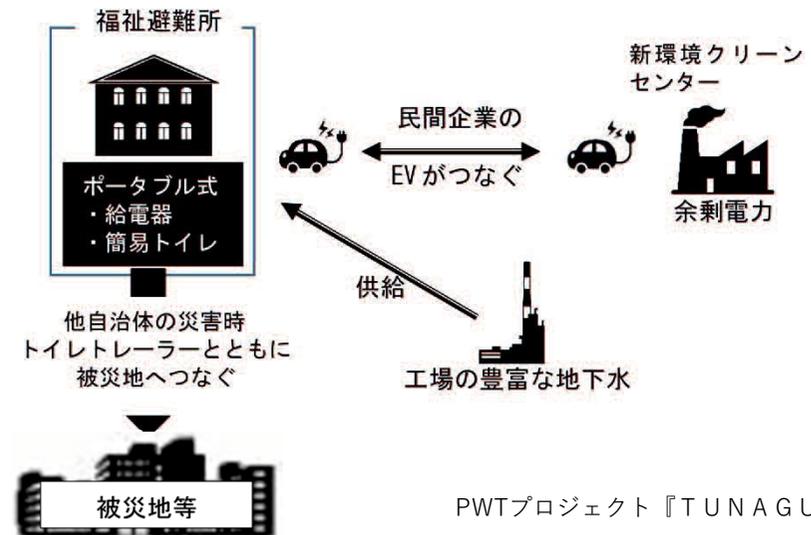


## リーディングプロジェクトの実施②

### ●広域的な連携を推進する防災対策 PWTプロジェクト『TUNAGU』

災害時に福祉避難所となる福祉施設に、電源(P)、水(W)、トイレ(T)を確保する対策を官民協働で行う。

- (P) ごみ発電の余剰電力を電気自動車で運び、福祉施設に配置する可動式給電器に供給
- (W) 製紙工場の地下水を供給
- (T) 電動式簡易トイレを配備
- ▶他自治体災害時には、トイレトレーラーとともに給電器と簡易トイレも被災地へ



## リーディングプロジェクトの実施①

### ●ICTを活用した生物多様性の保全

ICTを活用して生物多様性を保全する仕組みを官民協働で検討していく。



# 経済、社会、環境の各側面の相乗効果

### 経済

- CNFの実用化等の産業支援
- 富士のお茶ブランド化
- 富士ヒノキ販路拡大 等



#### 経済⇒社会

- ・新産業、既存産業がバランスよく成長した魅力ある雇用環境の創出による **若い世代の人口の増加**
- ・地域産業の活性化を通じた地産地消と、**郷土への愛着の醸成により、住み続けられるまちの形成**

### 社会

- ユニバーサル就労の推進
- ESDと高等教育機関との連携
- 災害時のトイレ対策 等



#### 社会⇒経済

- ・ユニバーサル就労の推進、ワークライフバランスの確保など、働きやすい就労環境による**企業の労働不足解消**
- ・紙のまちに関するESD推進や地場産業の持続可能性をSDGsとリンクした取組による**将来の産業の担い手育成**

#### 経済⇒環境

- ・バイオマス素材であるCNFを活用した環境配慮型商品の開発など、**環境配慮型産業の成長**
- ・これに伴う市内企業の**低炭素型経営への転換と、省エネ対策の進展によるCO2排出削減への貢献**

＜三側面をつなぐ統合的取組＞

## 富士市から、世界を変える 共想・共創プラットフォーム

各取組の加速・深化



#### 環境⇒社会

- ・マイクログリッド、電力融通、蓄電池の普及など、持続可能な電力供給体制により、**災害時にも安心して暮らせるまち**
- ・学びを通じて富士山の価値を再認識し、**豊かな心を育むまち**

#### 環境⇒経済

- ・市民の環境意識の高まりを背景とした、リサイクル商品等の需要拡大と、**気候変動対策に適用した生産設備の導入による生産性向上、高度化**
- ・「紙のまち」として、再生紙の製造や紙ストロー等の新商品の製造など、**循環型ビジネスの価値の見直し、基幹産業の活力の底上げ**

### 環境

- 富士・愛鷹山麓地域環境管理
- 温室効果ガス40%削減
- 環境教育の充実 等



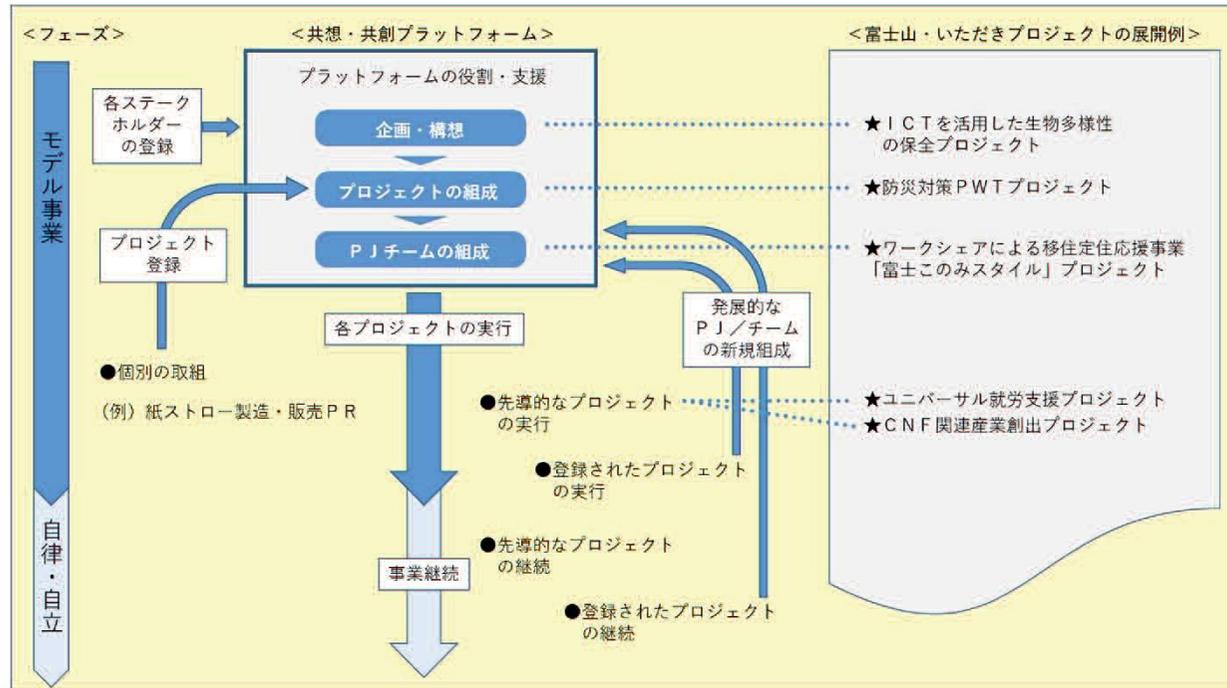
#### 社会⇒環境

- ・ESDにより経済、社会、環境が調和した持続可能な社会づくりを学び、環境保全等の重要性と、自らの関係性を考えながら実践する人の増加
- ・柔軟な働き方の実践による通勤移動に伴う環境負荷の軽減や、余暇を活用した富士山保全活動など、**環境に配慮したライフスタイルの定着**



# 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

- 本市が推進する先導的な取組、リーディングプロジェクトなど、進捗状況の異なる取組をプロジェクト登録することからスタート
- 各プロジェクトを実行しながら実績を重ねていくことにより、プラットフォームを機能的かつ効果的なものへと成長させ、自律、自立させていく



## オール富士市でSDGs達成に向かう好循環へ

- ▶ステークホルダーとの連携、パートナーシップの深化
- ▶社会課題の解決をビジネスチャンスにする事例の蓄積
- ▶取組の掛け合わせによる新たな価値の創造 など